

令和4年度 大分県ものづくり循環経済促進セミナー

テーマ:生き残るための「持続可能なものづくり」への転換 ～「SDGs目標ゴール12 つくる責任」に取り組もう～

WEB

市場や社会からの環境配慮要請は急速に高まっており、消費者の購買行動（エシカル消費の拡大）や投資家の投資行動（ESG投資）が変化している中、事業そのものを循環型に転換しなければ、生き残れない時代がやってきます。そこで、持続可能なものづくり産業への転換を促進するためのセミナーを開催します。



- ☞ 投資家、株主、消費者による環境配慮要請を無視していると、事業が継続できない時代がやってくる？
- ☞ 大企業によるサプライチェーンへの要請は、「中小企業は関係ない」では済まされない。他人事ではないかも。
- ☞ Z世代の高い環境意識に敏感にならないと、将来の消費者だけでなく、雇用の担い手への訴求もできなくなるなあ。

12 つくる責任
つかう責任



DXやGX、
変革（X）って
言われても…。

新たな経営戦略
の打ち出しが
必要です。
まずは
動き始めましょう！

主 催	大分県
対 象	県内企業(主に製造業)の経営層、直接部門の管理者等
日 時	令和5年3月14日(火) 13:30～16:10
開催方法	オンライン(Microsoft Teams)
申込方法	https://onl.sc/ShMDPfz 

申込は
3/10(金)
まで

※申し込み後、登録のメールアドレス宛に、セミナーの接続URLが自動送信されます。

基調講演（13:40～14:25）

「GX時代における循環経済（サーキュラーエコノミー）」について

経済産業省 産業技術環境局 資源循環経済課 総括補佐 吉川 泰弘 氏

講演（14:25～15:55）

「なぜ今、循環経済移行なのか？ 第一歩を踏み出す前に」

有限責任監査法人トーマツ リスクアドバイザー事業本部 シニアマネジャー 松田 晋太郎 氏

専門分野: 資源循環工学。

循環経済移行、脱炭素、DX推進、資源循環等のテーマを軸とした地方創生プロジェクトの実績多数。
地域の人材育成や伴走支援にも取り組まれている。

事業紹介（15:55～16:10）

「大分県産業廃棄物削減等ものづくり補助事業」について 大分県(工業振興課)

※当該セミナーの受講(要アンケート回答)は、来年度予算成立後に実施予定の補助事業(大分県産業廃棄物削減等ものづくり事業)の公募において、審査加点対象となります。

問合せ
先

工業振興課
管理・環境班
097-506-3265

参考資料

循環経済ビジョン2020（経済産業省 2020.5）

●「環境と成長の好循環」を図るため、 環境活動としての3R(Reduce・Reuse・Recycle) から **循環経済(Circular Economy)への転換が必要**

事業活動の持続可能性を高め、中長期的な競争力を確保するため、あらゆる産業において、経営戦略・事業戦略として、「循環性の高いビジネスモデル」へ移行することが重要。

特に、ものづくり産業においては、資源投入量・消費量を抑えつつ、設計から廃棄段階まで含めたモノのライフサイクル全体を考慮した製品づくりをデザインしていく必要があります。

SDGsゴール⑫「持続可能な生産と消費（作る責任、使う責任）」

